第 60 回関東甲信越静地区造形教育研究大会

静岡大会

磐周・湖西 2021 大会　最終案内

2021年度　第 48 回静岡県教育研究会　図画工作・美術教育研究大会
袋井市・磐田市・森町・湖西市図画工作・美術研究部会

大会テーマ

「ときめき　かかわり　未来へつなぐ造形」

～自分の思いをもとに　豊かに表現する個～

令和２年度には小学校で新学習指導要領が全面実施となり、令和３年度には中学校が全面実施となりました。大会テーマには、主体的・対話的で深い学びに向け、開かれた教育課程、子供たちがときめき、かかわり合いながら一人一人が豊かな個となる造形教育を目指したいという思いが込められています。第 60 回関東甲信越静地区造形教育研究大会静岡大会に多数ご参加くださいますようご案内いたします。

なお、本大会は新型コロナウイルス感染予防のため、すべてオンデマンドで実施いたします。初めての試みであり、不十分な点が多々あることと思いますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

令和３年７月吉日　静岡大会実行委員長

会　　期　２０２１年１１月１８日(木) 14：00 ～ １２月２日(木)

公開保育・公開授業の園・校

幼 稚 園：磐田市立豊田南こども園
小 学 校：磐田市立豊田南小学校、磐田市立青城小学校
中 学 校：磐田市立豊田南中学校、磐田市立豊田中学校
高等学校：静岡県立浜松江之島高等学校

記念講演　演題「図工・美術における深い学び」
岡田　京子 氏　　東京家政大学
前文部科学省初等中等教育局教育課程　教科調査官
前国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官
前文化庁参事官(芸術文化担当)付教科調査官

主　　催　関東甲信越静地区造形教育連合、静岡県教育研究会(静岡県美術教育研究部会)
静岡県高等学校美術・工芸教育研究会

後　　援　静岡県教育委員会　袋井市・磐田市・森町、湖西市教育委員会
全国連合小学校長会　全日本中学校長会　全国公立学校教頭会
静岡県国公立幼稚園・こども園長会　静岡県公立幼稚園・こども園研究会
静岡県校長会　静岡県高等学校長協会　磐周小中校長会
湖西市小中校長会　静岡県PTA連絡協議会
公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部

大会参加費　1，000円(※支払方法によっては手数料がかかることがあります。)

1　大会テーマ

「ときめき　かかわり　未来へつなぐ造形」

2　趣　　旨

令和２年度には小学校で新学習指導要領が全面実施となり、令和３年度には中学校が全面実施となりました。大会テーマには、主体的・対話的で深い学びに向け、開かれた教育課程、子供たちがときめき、かかわり合いながら一人一人が豊かな個となる造形教育を目指したいという思いが込められています。また、今回の改訂により、誰一人学びの芽生えや学びから取り残すことのない個別最適化へ向けた保育改善・授業改善が求められています。静岡県が取り組んできた本テーマと豊かな造形活動を通して、未来へつながる資質・能力等について本大会を通して見つめていきたいと思います。

3　校園種別テーマ

校　園　種	テ　ー　マ
幼　稚　園	ときめく造形
小　学　校	ときめきかかわる造形
中　学　校	かかわりつなぐ造形
高 等 学 校	未来へつなぐ造形

4　日　　程　（※公開アップの時刻）

11 月 18 日(木)

14：00～　開会セレモニー
記念講演
公開保育・公開授業、研究協議、校種別分科会

本大会は、新型コロナウイルスによる感染拡大を避けるため、すべての催しをネット配信による「オンデマンド大会」として計画いたしました。

令和３年 11 月 18 日(木)14：00 から、配信を開始いたします。。

公開保育・公開授業、および、保育者・授業者の思いや反省と助言者による助言は事前に実施し、その模様を録画・編集して配信いたします。視聴後、アンケート方式による意見集約を行いますのでご協力ください。また、校種分科会についても、研究協議と同様の方法で行います。

本大会がオンデマンド方式を採用したことから、従来の大会報告書は取りやめ、その代わりに公開期間を約２週間に延長し、その期間に何度でも視聴いただくことといたしました。

なお、全ての情報はセキュリティーの観点から、参加費を支払った方しか閲覧できません。くれぐれも動画の録画は厳に慎むようお願いいたします。

5　開会セレモニー

1　開　　会
2　主催者あいさつ
3　基調提案
4　大会宣言
5　閉　　会

6　記念講演　　演題「図工・美術における深い学び」

講演者　岡田（おかだ）　京子（きょうこ）　様

東京家政大学　家政学部　造形表現学科教授
前文部科学省初等中等教育局教育課程　教科調査官
前国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部　教育課程調査官
前文化庁参事官（芸術文化担当）付教科調査官

7　公開保育・公開授業・研究協議

校園種	園・校名	学年	活動内容	授業者	助言者	司会者
幼稚園	磐田市立 豊田南こども園	年中	表　現	野崎　舞花	齋藤　喜代美 磐田市幼保課 指導主事	柳瀬　篤子
小学校	磐田市立 豊田南小学校	6年	A表　現 造形遊び	T1：寺沢　扶美 T2：梅村　千晴	能﨑　弥生 静岡県教育委員会 指導主事	磐田市立 豊田南小学校 職員
	磐田市立 青城小学校	6年	A表　現 絵・立体・工作	岩倉　史佳	髙橋　智子 静岡大学教育学部 准教授	三ヶ島　佑哉 磐田市立 磐田南小学校
中学校	磐田市立 豊田南中学校	3年	A表　現	池谷　瑠実	佐藤　弘明 静岡県教育委員会 指導主事	石津　宏直 袋井市立 浅羽中学校
	磐田市立 豊田中学校	2年	B鑑　賞	渥美　直和	芳賀　正之 静岡大学教育学部教授	大瀧　仁美 袋井市立 袋井中学校
高等学校	静岡県立浜松 江之島高等学校	3年	表　現	秋月　竜也	川原崎　知洋 静岡大学教育学部 准教授	川邉　耕一

8　校園種別分科会　（※こども園・高校は、分科会を研究協議に含める）

大会テーマ		分科会	分科会内容	提案･助言･司会･記録地区	校園種
ときめき　かかわり　未来へつなぐ	ときめく造形	1	表現	1a　静岡県（磐　周）	幼稚園
	ときめき かかわる造形	2	Ａ表現 造形遊び	2a　埼玉県	小学校
				2b　山梨県	
				2c　静岡県（駿　東）	
		3	Ａ表現 絵･立体･工作	3a　千葉県	小学校
				3b　神奈川県	
				3c　静岡県（静岡市）	
	かかわり つながる造形	4	Ａ表現	4a　長野県	中学校
				4b　群馬県	
				4c　静岡県（沼　津）	
		5	Ｂ鑑賞	5a　新潟県	中学校
				5b　東京都	
				5c　静岡県（小笠･榛原）	
	未来へつなぐ造形	6	表現	6a　静岡県（西　部）	高校

提案者	助言者	司会者	記録者
野崎　舞花 磐田市立豊田南こども園	齋藤　喜代美 磐田市幼保課指導主事	柳瀬　篤子 磐田市立豊田南こども園	齋藤　文 磐田市立豊田南こども園
日髙　大介 さいたま市立南浦和小学校	丹後　雅博 さいたま市立大宮西小学校長	田島　志保 さいたま市立日進小学校	鈴木　利枝 さいたま市立岸町小学校
藤代　麻衣子 甲斐市立竜王南小学校	新野　貴則 山梨大学	三枝　清美 甲州市立岩手小学校	岩間　啓介 笛吹市立石和西小学校
菅原　知成 長泉町立長泉北小学校	持田　晃寿 御殿場市立原里小学校　教頭	渡邉　ひとみ 裾野市立富岡中学校	渡邊　あすか 御殿場市立御殿場小学校
笠井　由紀 千葉市立生浜東小学校	風間　政章 千葉市立小中台南小学校長	川口　雅史 千葉市立高洲第三小学校	岩村　侑紗 千葉市立稲浜小学校
落合　陽香 横浜市立並木第一小学校	寺澤　みゆき 横浜市立桂小学校長	長谷川　俊充 横浜市立荏田西小学校	木場　美輪 横浜市立入船小学校
石垣　拓磨 静岡市立大川小中学校	幾見　祐治 静岡市立賤機南小学校　教頭	澤　恵美 静岡市立南藁科小学校	太田　康子 静岡市立安東中学校
上本　忍 長野市立更北中学校	沓掛　隆 安曇野市立三郷中学校長	長﨑　至宏 長野市立古里小学校	塚田　香織 長野市立川中島中学校
南雲　優人 沼田市立白沢中学校	川端　郁男 みなかみ町立月夜野北小学校 教頭	福島　栄典 沼田市立多那中学校	濵田　大作 桐生市立清流中学校
米倉　丈智 沼津市立原中学校	髙木　晃久 沼津市立第一小学校 教頭	世古　智子 沼津市立大岡中学校	勝俣　恵 沼津市立門池中学校
菅原　勇規 上越市立頸城中学校	大塚　啓 上越市立清里中学校	石川　清春 糸魚川市立青海中学校	寺田　寛 上越市立城北中学校
大黒　洋平 小笠原村立母島中学校	松本　久 江東区立第三砂町中学校長	大舘　佐知子 葛飾区立奥戸中学校	濱　夏子 墨田区立錦糸中学校
長谷川　景子 掛川市立西中学校	城下　俊介 掛川市立城東中学校長	髙林　由季 掛川市立日坂小学校	遠藤　香乃 菊川市立岳洋中学校
秋月　竜也 浜松江之島高等学校	川原崎　知洋 静岡大学教育学部准教授	川邉　耕一 浜松江之島高等学校	片瀬　美里 掛川工業高等学校

９　オンデマンド配信による研究大会の体制・流れ

《参加者がすること》

①８月１日（日）～　次のいずれかからアクセスしてください。

・静岡県教育研究会 HP（https://www.skyken.org/）「静岡大会」のリンクをクリックする。

・「静岡大会最終案内」の紙面上の QR コードを読み込む。

・関東甲信越静地区造形教育研究大会 HP のリンクをクリックする。

https://kanbro2021shizuoka.peatix.com

②「静岡大会」開催ページが開く

チケットを申し込むをクリック

チケットの枚数（１枚）・支払方法の選択を求められます

「Peatix」よりユーザー登録を求められます

③ ログインへ進むをクリック

④ はじめてご利用の方は新規登録←ここをクリックしユーザー登録

・メールアドレス

・パスワード

（英文字大小・数字+？#！などを含む８文字以上）

・ニックネーム

⑤主催者からの事前アンケート

・氏名（漢字・フリガナ）

・所属

・メールアドレス

請求先情報へ進むをクリックし、支払いを完了する・

登録したメールアドレスにメールが届く。

⑥メール中のイベント視聴ページに移動をクリック

チケットを申し込むが出てくるが、押さない

【スマートフォンの場合】
・Peatix の大会ページが開く。
・右上 ≡ をクリックし、ログインする。

※読み取れない場合はこちらから

「Peatix.com」にアクセスする

上のバーの中の「注文履歴」をクリック

登録したアドレス・パスワードを入力

⑦11 月 18 日（木）14:00～
イベントに参加をクリックする。

「Peatix.com」にアクセスし、ログインして視聴していただくこともできます。
なお、アクセスの仕方によって、上記の手順が入れ替わることがあります。

※動画を視聴する際は、スマホ用の Peatix アプリではなく、インターネットブラウザから御視聴ください。

〈当日に参加者がすること〉　令和3年11月18日（木）～12月2日（木）

それぞれ自宅などで、「オンデマンド静岡大会」に参加します。

「オンデマンド静岡大会」

開会セレモニー
あいさつ
基調提案
大会宣言等を行います。

記念講演

公開保育・公開授業・研究協議・分科会
授業者の思い・反省、助言者による助言をご覧いただきます。

アンケートに御協力ください!!

① Peatix の関ブロ静岡大会ページ「視聴」をクリック
② アンケートのリンクをクリック
③アンケートに御回答ください。

幼・小・中・高　校種別テーマ

＜幼稚園＞「ときめく造形」

園内に響く子供たちの声は、今日も新しい発見とその喜びに満ちています。砂山にトンネルを掘ったり、竹馬や一輪車に乗ったり、幼児期のすべての活動は、子供たちの感性を育てる基盤となります。何気ない日常の活動の中に、子供たちの感性豊かな表現が生まれるのです。

幼児期には、草花で色水を作ったり、どんぐりなどの木の実を集めたり、砂やどろんこの感触を確かめたりなど、身近な自然素材を使って自由に造形的な遊びを楽しみます。自由な遊びの中で、様々な素材の美しさ、すばらしさにワクワクしながら、形づくられていくものには、子供たちのときめきがあふれています。

また、クレヨンや絵の具、はさみ、のり、テープなどの用具を使うことで、遊びや表現の可能性はさらに広がり、用具を使う技術を身に付けるとともに、用具の特性を感じ取っていくことでしょう。そして幼児期に様々な素材や用具に数多く触れ、自由に造形的な遊びを繰り返していくことにより、毎日新しいときめきが生まれ、子供たちの目は、輝きを増していくことでしょう。

＜小学校＞「ときめきかかわる造形」

いつも見慣れている廊下や教室、まっさらな画用紙、校庭の木の枝や葉、国語で学んだ詩や物語の言葉などが、図画工作の時間には、好奇心や想像力をかき立てる魅力的な材料に変わります。題材と出会い、材料を手にしたとき、子供たちの心はどれほどときめいていることでしょう。そのときめきは、自分なりの表現への探求につながり、自分の作品への愛着になります。すると、今度は「どの道具を使ったの」「この色を選んだ理由はね・・・」「この形、面白いね。〇〇みたい」などの声が聞こえてきます。子供たちは自分と異なる物の見方や感じ方に気付き、自分の作品に込めた思いや意図を語り合いたくなることでしょう。こうして子供同士や作品同士がかかわり合うことで、作品に意味や価値をつくり出し、ときめきある図画工作の時間が誕生することでしょう。

＜中学校＞「かかわりつなぐ造形」

中学校美術では、作品制作や鑑賞をして終わるだけでなく、地域社会や作者の思いなどに、よりいっそう視野を広げ、直接かかわる学びを展開します。

いつも生活している地域を造形の素材としたり、様々な年代の子供たちがともに学び合ったりすることにより、地域や他者への思いが自分の表現につながっていきます。そして、自分の学びだけで終わらず、生徒が感じた地域や作品の魅力を、地域の人々や校種の違う子供たちに発信することで、自分と地域社会がさらにかかわり、より深くつながっていくことでしょう。

また、それぞれの思いや感じ方、見方、考え方などを生徒同士で明確に伝え合うことを通して、さらに感性を磨いていきます。感覚的な鑑賞が、知識及び技能、幅広い視野を兼ね備えた鑑賞へ、変容していく瞬間を垣間見ることができるのではないでしょうか。学校という社会の境界から、校種や年代を超えて、作品のよさを伝えることを通して、さらに自分自身の見方を広げ、自分なりの表現を高めていくことでしょう。

＜高等学校＞「未来へつなぐ造形」

本物の美術品や伝統工芸品から感じる芸術家の思いや歴史、伝統文化を自分の表現に生かしていくことは、自分自身と人々の歴史をつないでいくことです。そして、自分の表現を地域や仲間と伝えあうことは、自分自身を未来に発信することにつながります。今までに培った造形経験を基盤に、地域に根付いた美術文化の理解を深め、自分の創造的な表現を構想していきます。

こうした活動の中で、仲間と互いにかかわりあい、集団で磨き合うことを通して、新たな感動とともに、自己肯定感や自己有用感を覚えて、輝かしい未来を切り開いていくことでしょう。そして、まだ見ぬ未来を自由に発想し、創造する担い手としての自分自身を大いに発揮するきっかけとなることを願います。